



TITLE:

京大東アジアセンターニューズレ ター 第502号

AUTHOR(S):

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター

CITATION:

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター. 京大東アジアセン
ターニューズレター 第502号. 京大東アジアセンターニューズレター
2014, 502

ISSUE DATE:

2014-01-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/180301>

RIGHT:

目次

- 中国経済研究会のお知らせ
- カンボジア : タリー・コンポンチャム SEZ 調査報告
- 上海街角インタビュー ⑭
- 【中国経済最新統計】

「中国経済研究会」のお知らせ

2013年度第7回（通算第39回）の中国経済研究会は下記の要領で開催することになりました。大勢の方のご参加をお待ちしております。

記

時 間： 2014年1月28日（火） 16:30－18:00

場 所： 京都大学吉田キャンパス・法経済学部東館地下一階みずほホール

報告者： 張紅咏 （独立行政法人経済産業研究所 研究員）

テーマ： Does agglomeration promote the product innovation of Chinese firms?

注：本研究会は原則として授業期間中の毎月第3火曜日に行います。2013年度における開催（予定）日は以下の通りです。

前期：4月23日（火）、5月21日（火）、~~6月18日（火）~~、7月23日（火）

後期：10月22日（火）、11月19日（火）、12月17（火）、**1月28日（火）**

（この件に関するお問い合わせは劉徳強（liu@econ.kyoto-u.ac.jp）までお願いします。なお、研究会終了後、有志による懇親会が予定されています。）

カンボジア : タリー・コンポンチャム SEZ 調査報告

15. JAN. 14

中小企業家同友会アジア情報センター代表

東アジアセンター外部研究員（協力会副会長）

小島正憲

附 カンボジア : バベット SEZ ①D&V、②NLC、③ドラゴンキング、④Pacific、⑤Hi Park、⑥山東桑莎

ベトナム : モックバイ国境ゲート経済区

タイニン市 カオダイ教総本山

1. タリー・コンボンチャム経済特区

プノンペンから国道7号線を、北東に車で3時間半ほど走った場所に、タリー・コンボンチャム経済特区(英語表記: Thary Kampong Cham SEZ)がある。

- ・所有者は、カンボジア人の Oknha Chhorn Thary 氏
- ・開発面積: 140ha ・2005年オープン
- ・借地料: US20 \$ / 1㎡ (70年間) ※交渉の余地有り。
- ・ベトナム国境まで30分。ホーチミンまで約4時間。
- ・国境はインターナショナルで、ベトナム人、カンボジア人以外も通行可。カンボジア名: トロペン・プロム国境。国境のカンボジア側にはカジノが数軒ある。ショッピングセンターもある。
- ・電力: ベトナムから買電。ほぼ停電なし。電気代も安い。
- ・水: 井戸で汲み上げ。水質・水量ともに問題なし。
- ・現在、タリー氏の自社企業(ゴムの木の集荷・製材業)が1社のみ稼働中。ベトナム系の縫製工場(1000名規模)が稼働していたが、オーダー不足とベトナム人経営者間で仲間割れの結果、2008年に閉鎖。経済特区内は中央に道路が1本整備されているのみ。
- ・近くに大きな農村集落があり、労働者はそこから歩いて集まってくるという。
- ・周辺は農村地帯で、ゴム・胡椒・カシューナッツなどの栽培が盛んであり、生活水準はカンボジアでは最も高いという。
- ・労働者の給料は US100~150 \$。田舎にしては安くはない。



《 タリーSEZ 正面門 》



《 SEZ 内は一面の野原 》



《 閉鎖された縫製工場 》

※コンボン・チャム

- ・コンボン・チャムという地名は、コンボンはカンボジア語では「港」という意味、チャムはチャム族が多く住んでいるところから付けられたという。
- ・チャム族とは、ベトナムに住んでいたチャンバ族がベトナム人に追われて、メコン川沿いにカンボジアへ逃げ込んだ人たちの末裔だといわれており、主に漁業に携わり、イスラム教を信じている人が多いという。コンボン・チャムのメコン川周辺にはモスクも多い。



《 トロペン・プロム国境のカジノ 》

2. カンボジア: バベット地域 SEZ

カンボジア・ベトナム国境のバベット市には、すでにマンハッタン SEZ・タイセン SEZ が稼働中であるが、その他、現在開発中の SEZ (ほとんどが100ha を越す巨大なもの) が目白押しである。さらに国道1号線沿いには、1年前にはなかった SEZ 用土地賃貸の看板(これも100ha を越すもの)も多く、まさに SEZ 乱立の様相を呈している。以下に開発途中の主だった SEZ の映像を掲げておく。



① D&V SEZ 整地のみ



②NLC SEZ 整地のみ



③ドラゴンキング SEZ 1社操業



④Pacific SEZ 整地のみ



⑤Hi Park SEZ 整地のみ



⑥山東桑莎 SEZ 1社操業

※ なお、このバベットには、カジノも多く、ベトナム人が大勢遊びに来ていたが、最近、その数が激減しており、倒産したり閉鎖したりするカジノ兼ホテルが目立つようになってきているという。表通りの大きなカジノだけでも3軒が営業を停止していた。

3. ベトナム：モックバイ経済区、廃虚化の恐れ

カンボジアと国境を接するベトナム：タイニン省モックバイ国境ゲート経済区のショッピングセンターが、免税措置をめぐる理不尽な政策変更などの影響で廃虚になる可能性が浮上している。モックバイ経済区は面積2万1300ヘクタール。2008～09年の開設初期のモックバイ経済区は免税措置で、年間270万人もの訪問者を集めていた。ただ12年下半期に免税措置が無効化された。その後、免税措置が緩和されたり、厳しくなったりと2転3転したため、現在は閑散とした状態である。すでに営業をとりやめたショッピングセンターも多く、この経済区へのゲートは閉鎖され、訪問者はゲート脇の小さな入り口から出入りをしている。かろうじて開店しているショッピングセンターでも、買い物入れに使用するワゴン車の大半が野ざらしでホコリを被り、錆び付いてしまっていた。ショッピングセンター内は、中国製の日用品が多く、免税で価値のあるような高額商品は少なかった。買い物をしているのは、カンボジア観光帰りの人などで、わざわざホーチミンから交通費を払って買い物だけに来ている人は少ないという。それでも出口付近には担ぎ屋らしき女性が数十名たむろしていた。



《閉鎖中の大型カジノ》



《閉鎖中のモックバイ経済区ゲート》



《現在使用中の経済区の出入口》



《閑散としたショッピングセンター入り口》

4. カオダイ教総本山

カンボジアのタリー・コンポンチャムからベトナムのホーチミンへは、トロペン・プロム国境(カンボジア名)を抜けて、ベトナム側の国道22号線を車で走れば、約3時間半で着く。途中のタイニン市には、ベトナムの新興宗教:カオダイ教の総本山がある。

カオダイ教は、1919年、ゴ・ミン・チェンによって創唱され、その教義は五教(儒教・道教・仏教・キリスト教・イスラム教)の教えを融合して、世界の救済を求めている。仏領インドシナ時代には、独自の私兵団を擁し反仏運動を展開したとも言われるが、フランスからの支援を受けてベトミンとも戦い、教団が巨大化したとも伝えられている。たしかに総本山前には、今でもサッカー場の2倍ほどの閱兵用の広場が設けられている。ジュネーブ協定後に成立した南ベトナム政権がキリスト教を擁護したため、カオダイ教は武装解除を迫られ、それに抵抗を試みたが鎮圧されたという。現在の信徒数はタイニン省を中心に、150～200万人とされている。タイニン市周辺では、総本山に似せて造られたカオダイ教の寺院を、多数見ることができる。

総本山では毎日、昼の12時から約20分間、信者の集団祈祷が行われ、そのとき、信徒はすべて白いアオザイを着て、鳴り物といっしょにお経を唱え、一種の酩酊状態に入ると言われている。残念ながら、私が訪れたのは午後3時ごろで、その光景を眼にすることはできなかった。

入り口のところに大きな額が掲げられており、そこには3人の人物が描かれていた。説明文には、それは中国人の孫文、そしてフランス人のヴィクトール・ユーゴー、ベトナム人の阮秉謙であり、カオダイ教ではその3人を聖人として崇めていると書かれていた。私にはこの3人の取り合わせがよくわからないが、孫文はともかくとして、ヴィクトール・ユーゴーは「レ・ミゼラブル」を書いた作家として有名なだけで、しかもその政治家としての活躍は悲運に満ちたものであり、私生活は女性関係が派手であり、とても人間として崇める対象ではないのと思った。なおベトナム人の阮秉謙についての詳細は不明であるが、これも五教を折衷したようなカオダイ教を信仰している信者にしてみれば、格別に疑問を持つほどのことではないのだろう。



以上

上海街角インタビュー ⑭

社団法人大阪能率協会アジア・中国事業支援室副室長(海外委員)

順利包装集团董事长(在上海)

福喜多技術士事務所所長

福喜多俊夫

「中国で珠算は消え去った遺産か」

“和食”がユネスコの無形文化遺産に登録され、各地で和食ブームが盛り上がっているが、中国でも12月4日、“中国の珠算”が1800年の歴史を持つ計算機としてユネスコの無形文化遺産に登録された。これで中国の無形文化遺産は30項目となり、中国は世界一無形文化遺産の多い国となった。因みに日本は22件である。

日本でも我々の周囲から“算盤”は殆ど姿を消したが、私は10年以上の中国滞在中、中国の“算盤”を一度も見たことが無い。中国でも中高年は“珠算”をやったことがあるかもしれないが、子供たちや若者は“珠算”の経験があるか聞いてみた。

1. 22歳女子 大学院生

算盤は見たことはありますが、一度も使ったことはありません。私が物心ついたときには、電卓が家の中に入っていました。祖父母は算盤を使えるかもしれないけれど、多分両親は使えないと思う。

2. 8歳女子 小学生

算盤は本物を一度も見たことはありません

3. 45 歳男子 民間会社管理部勤務

中学校の時（80 年代前半です）、学校で少し教わりましたが、今は学校でも教えていないでしょう。大学や会社では計算尺は使いましたが、算盤は使いませんでした。会社へ入った頃、すでに電卓が普及していました。

4. 40 歳代 会計士の資格を持つ女性

小学生の時、算盤を習いました。私は上海財經大学出身ですが授業では“珠算”はありませんでした。でも、趣味でやっている学友はいました。私は算盤をもっているし、今でも使えます。でも、実務で使ったことはありません。

5. 30 歳代前半の女性

小学校の時、珠算の授業がありました。中学校以降は触ったことはありません。

6. 20 歳代後半の女性

小さい頃、祖父が算盤で計算していたのを覚えています。祖父が教えてやろうといったので私も試してみましたが、難しいので習うのをやめました。それ以来触っていません。

6. 30 歳代後半の女性

子供が幼稚園で珠算を教えてもらっていたけれど、小学校に入ってからはやっているのを見たことはありません。今では小学校でも教えないのでしょうか。

7. 70 歳代 元小学校教師

中国では 1990 年代までは小学校でも算数の時間に珠算を教えていました。しかし、2001 年の教育部の通達で珠算は義務教育標準から削除されてしまいました。珠算の機能は電卓で十分果たせるというのが理由でした。私は、算盤は指の運動が脳の働きに影響すると信じているし、暗算能力の向上に役立つから、せめて小学生には珠算を教えた方がいいと今でも思っています。無形文化遺産に選ばれたことを契機に、政府が珠算教育を見直してくれたらいいと思います。

インタビューした結果は大体予想通りで、日本と同じ経過を辿ったようです。ただ、日本では数は激減していますが、今でも珠算塾は健在なように、中国でも珠算に親しむ人はかなりいるようです。中国の算盤は元々七つ珠（1 の位に五つ、五の位に二つ）でしたが、近年は日本式の五つ珠（1 の位に 4 つ、五の位に 1 つ）が逆輸入されているようです。中国珠算協会は子供の記憶力と注意力を強化する活動を行っており、上海珠算協会は児童の知力開発についてすでに 16 年に及ぶ実験教育を行っているそうです。しかし、中国政府は珠算教育にはあまり熱心でないようで、2012 年に全国規模の計算能力検定の項目から珠算を削除してしまいました。

以上

【中国経済最新統計】

	① 実質 GDP 増加率 (%)	② 工業付加価値増加率 (%)	③ 消費財小売総額増加率 (%)	④ 消費者物価指数上昇率 (%)	⑤ 都市固定資産投資増加率 (%)	⑥ 貿易収支 (億ドル)	⑦ 輸出増加率 (%)	⑧ 輸入増加率 (%)	⑨ 外国直接投資件数の増加率 (%)	⑩ 外国直接投資金額増加率 (%)	⑪ 貨幣供給量増加率 M2 (%)	⑫ 人民元貸出残高増加率 (%)
2005 年	10.4		12.9	1.8	27.2	1020	28.4	17.6	0.8	▲0.5	17.6	9.3
2006 年	11.6		13.7	1.5	24.3	1775	27.2	19.9	▲5.7	4.5	15.7	15.7
2007 年	13.0	18.5	16.8	4.8	25.8	2618	25.7	20.8	▲8.7	18.7	16.7	16.1
2008 年	9.0	12.9	21.6	5.9	26.1	2955	17.2	18.5	▲27.4	23.6	17.8	15.9
2009 年	9.1	11.0	15.5	1.9	31.0	1961	▲15.9	▲11.3	▲14.9	▲16.9	27.6	31.7
2010 年	10.3	15.7	18.4	3.3	24.5	1831	31.3	38.7	16.9	17.4	19.7	19.8
2011 年	9.2					1549	20.3	24.9				
10 月		13.2	17.2	5.5	34.1	170	15.8	29.1	-0.6	8.7	16.7	14.1
11 月		12.4	17.3	4.2	21.4	145	13.8	22.6	-12.9	-9.8	16.2	14.0
12 月	8.9	12.8	18.1	4.1	5.7	165	13.3	12.1	-15.4	-12.7	17.3	14.3
2012 年						2303	7.9	4.3				
1 月				4.5	25.3	273	-0.5	-15.0	4.6	10.8	16.6	14.8

2月		21.3		3.2	—	-315	18.3	40.3	38.7	-0.9	17.8	15.0
3月	8.1	11.9	15.2	3.6	21.1	53	8.8	5.4	-6.5	-6.1	18.1	15.7
4月		9.3	14.1	3.4	19.2	184	4.9	0.4	-26.1	-0.7	17.5	15.4
5月		9.6	13.8	3.0	21.0	187	15.3	12.7	-6.1	0.0	17.9	15.7
6月	7.6	9.5	13.7	2.2	21.8	317	11.3	6.3	-16.3	-6.9	18.5	16.0
7月		9.2	13.1	1.8	20.6	251	1.0	5.7	-7.8	-8.6	18.9	16.0
8月		8.9	13.2	2.0	19.4	267	2.7	-2.7	-12.7	-1.4	18.4	16.1
9月	7.4	9.2	14.2	1.9	23.1	277	9.8	2.3	-6.4	-6.8	19.8	16.2
10月		9.6	14.5	1.7	22.4	320	11.5	2.2	1.8	-0.2	14.6	15.9
11月		10.1	14.9	2.0	20.0	196	2.8	-0.1	-8.7	-5.4	14.5	15.7
12月	7.9	10.3	15.2	2.5	18.8	316	14.0	6.0	-7.8	-4.5	14.4	15.0
2013年												
1月				2.0	20.8	291	25.0	29.0	-12.4	-3.4	15.9	15.4
2月				3.2		153	21.7	-14.9	-35.6	6.3	15.2	15.1
3月	7.7	8.9	12.6	2.1	21.5	-9	10.0	14.2	-19.7	5.7	15.7	14.9
4月		9.3	12.8	2.4	19.8	182	14.6	16.6	13.9	0.4	16.1	14.9
5月		9.2	12.9	2.1	19.7	204	0.9	-0.1	-14.4	0.3	15.8	14.5
6月	7.5	8.9	13.3	2.7	19.9	271	-3.3	-0.9	-17.3	20.1	14.0	14.1
7月		9.7	13.2	2.7	20.2	178	5.1	10.8	1.2	24.1	14.5	14.3
8月		10.4	13.4	2.6	21.4	285	7.1	7.1	-11.7	0.6	14.7	14.1
9月	7.8	10.2	13.3	3.1	19.6	152	-0.4	7.4	-16.8	4.9	14.2	14.3
10月		10.3	13.3	3.2	19.2	311	5.6	7.5	-8.2	1.2	14.3	14.1
11月		10.0	13.7	3.0	17.6	338	12.7	5.4	-9.3	2.3	14.2	14.2
12月	7.7		13.6	2.5		256	4.3	8.6	-3.4		13.6	14.1

注：1. ①「実質 GDP 増加率」は前年同期（四半期）比、その他の増加率はいずれも前年同月比である。

2. 中国では、旧正月休みは年によって月が変わるため、1月と2月の前年同月比は比較できない場合があるので注意されたい。また、（ ）内の数字は1月から当該月までの合計の前年同期に対する増加率を示している。

3. ③「消費財小売総額」は中国における「社会消費財小売総額」、④「消費者物価指数」は「住民消費価格指数」に対応している。⑤「都市固定資産投資」は全国総投資額の86%（2007年）を占めている。⑥—⑧はいずれもモノの貿易である。⑨と⑩は実施ベースである。

出所：①—⑤は国家统计局統計、⑥⑦⑧は海関統計、⑨⑩は商務部統計、⑪⑫は中国人民銀行統計による。